

福岡水素エネルギー戦略会議

▶ <http://www.f-suiso.jp/>

福岡県は、環境にやさしい水素エネルギー社会の実現に向け、平成16年8月に全国に先駆けて産学官による推進組織「福岡水素エネルギー戦略会議」を設立しました。研究開発、社会実証、人材育成をはじめ水素エネルギーの開発・普及を総合的に展開し、世界を先導する水素拠点の形成を目指しています。

平成20年2月には「福岡水素戦略(Hy-Life プロジェクト)」を掲げ、「水素エネルギー社会の可視化・具現化」を重点として「水素ハイウェイ」の構築や「水素タウン」の整備などの取り組みを展開してきました。

平成22年には、その取り組みが評価され、先進国の閣僚級会合である国際水素燃料電池パートナーシップ(IPHE)から、「優秀リーダーシップ賞」を受賞しました。

平成23年度からは「水素エネルギーの市場創出・産業化」を重点として水素エネルギー産業の育成・集積に向けて、企業の参入支援やFCVの普及と水素ステーションの整備に一体的に取り組んでいます。

○水素エネルギー分野における日本最大の産学官連携組織

福岡水素エネルギー戦略会議

設立：平成16年8月3日

顧問：小川 洋(福岡県知事)

塩田 康一(九州経済産業局長)

北橋 健治(北九州市長)

高島宗一郎(福岡市長)

久保 千春(国立大学法人九州大学 総長)

会長：谷本 進治(新日鐵住金株式会社 代表取締役副社長)

副会長：津吉 学(岩谷産業株式会社 常務執行役員 産業ガス・機械事業本部 水素本部 水素ガス部長)

桑原 豊(JXTGエネルギー株式会社 取締役常務執行役員 新エネルギーカンパニー・プレジデント)

深澤 和広(トヨタ自動車株式会社 常務理事 パワートレーンカンパニー FC担当 先進技術開発カンパニー 先進技術統括部 部長)

佐々木一成(九州大学副学長・水素エネルギー国際研究センター長)

幹事会：会員中核企業などで組織

事務局：福岡県商工部新産業振興課

会員数：平成30年11月30日現在

815 (企業659、大学118、行政・研究・支援機関38)

設立当初 144 (企業63、大学64、行政・研究・支援機関17)

役員は平成30年11月30日現在

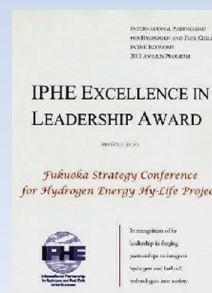


福岡水素エネルギー戦略会議総会

○Hy-Life プロジェクトの全体概要



○国際水素燃料電池パートナーシップ(IPHE) 「優秀リーダーシップ賞」と授賞式の様子 (2010年5月17日、ドイツEssen)





ふくおかFCVクラブロゴマーク

「ふくおかFCVクラブ」

地元の産学官が一体となって設立した「ふくおかFCVクラブ」を核に、FCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に推進中。
(設立日：平成26年8月19日)

〔組織体制〕

代表 麻生 泰 九州経済連合会会長
小川 洋 福岡県知事

〔会 員〕

FCVの導入や水素ステーションの整備に意欲・関心を持つ福岡県内の企業・大学・行政等(会員数 275機関(平成30年11月現在))

〔活 動〕

FCVの理解促進、FCV等に関する情報発信、FCVの率先導入、水素ステーションの整備促進



キックオフイベント(平成26年8月19日)

FCVの普及促進

○ FCVの率先導入

- ・ 県公用車として3台導入
- ・ 県内自治体、企業に対して導入を働きかけ

○ タクシー事業者への導入支援

- ・ 全国で初めて5台導入(平成27年3月)

○ FCVの理解促進

県公用車を活用して、県内各地で展示や試乗会を行う「ふくおかFCVキャラバン」、さらに九州各県に拡大した「九州FCVキャラバン」を実施

○ FCV等に関する情報発信

(<http://www.fcyclub.jp>)

国や県、市町村が行う支援制度、FCV等に関する最新情報 など

○ FCバス導入に向けた研究会の開催

FCバス導入にあたっての課題や対応策の検討を行うため、地元関係者等による研究会を開催



県公用車(トヨタ「ミライ」)



県公用車(ホンダ「クラリティ」)



FCVタクシー合同出発式(平成27年3月25日)



ふくおかFCVキャラバン

水素ステーションの整備促進

- ・ 候補地の紹介から地権者との交渉まで一貫したサポート
- ・ 県独自の補助金(1件4,400万円)による支援
- ・ 平成27年11月、西日本初となる県庁敷地内のステーションを整備
- ・ 現在、県内10か所で水素ステーションがオープン



福岡県庁水素ステーション開所式
(平成27年11月30日)

